

案件名	平成30年度 第1回太宰府市立図書館協議会
主催者	太宰府市民図書館
日時	平成30年11月29日（木） 18:00～19:30
場所	プラム・カルコア太宰府 研修室1
出席者	協議会委員(時里会長、穂坂副会長、藤野委員、八尋委員、野田委員、黒田委員) 事務局:市民図書館(田村館長、百田課長、西田係長、斉藤司書)
傍聴人	1名

1. 委嘱状交付(教育長より)
2. 教育長あいさつ
3. 委員、事務局紹介 自己紹介
4. 会長、副会長選出 会長は時里委員、副会長は穂坂委員で承認された。
5. 協議会開会 (事務局) 委員の過半数以上が出席されており、図書館協議会規則第5条第2項により会は成立しております。
(1) 平成29年度の報告(館報)について (事務局説明)
・月別貸出グラフの内6月の数が少なくなっているのは、毎年この時期が特別整理期間のため休館日が多いからです。特に昨年はこの時期にプラム・カルコアの空調工事を行ったため、休館日は例年よりも多くなっています。
・市民1人当たりの貸し出し数は約6.7冊でした。貸し出しは全国的に減少傾向にあります。利用を増やす取組が課題です。
・市民の登録率は34.8%です。本市は3年間利用がないと登録データを抹消していますが、利用がなくても抹消をしない図書館もありますので、一概に比較はできません。
・移動図書館車は昨年度落合公園への巡回を開始し、ステーション数が38か所となりました。
・移動図書館車が公立小学校全校及び高齢者施設に巡回をしているのは、筑紫地区では太宰府だけです。
・レファレンスサービスは、図書館の資料などを使って調べもののお手伝いをしています。
・市内の文庫、保育園や学校などにまとめて本をお貸しする「団体貸出」も行っています。
・ブックスタート事業及びファーストブック事業は保健センターと協働で事業を行っています。
・おはなし会は、図書館主催のものや読書ボランティアさんにご協力いただいているものがあります。
・図書館ボランティアさんにもご協力いただいています。
・学校図書館司書へ情報提供やアドバイスを行っています。
・平成29年度の決算額に比べて平成30年度の予算額が大きくなっている理由は、図書館内の監視カメラ設置工事費及び文化スポーツ振興財団の職員が増員となったためです。
(時里会長)
・大学の図書館利用率も下がりつつあります。公共の図書館だけではない事情があるのではないのでしょうか。
(黒田委員)
・ブックスタート事業の際に、図書館の登録用紙を配布物に加えることは可能ですか。
(事務局)
・図書館利用案内は配布しています。以前はファーストブック事業の時に登録用紙を配布していましたが、ブックスタート事業の主な目的が、家庭で子どもと一緒に読書を楽しんでいただくことであり、小さなお子さんを連れて図書館に来ていただくことが難しいご家庭もあるので、登録用紙を入れることは控えています。
(黒田委員)
・家庭で本を読まない理由として、本の価格が高くデジタル絵本であれば安く買えるとおっしゃる方もあるの

で、図書館に行ったらお金もかからないと説明しています。
(事務局)
・小さいお子様対象のおはなし会のご案内もしています。
(黒田委員)
・登録に時間がかかるとお子さんと一緒では難しいので、例えば赤ちゃん用の登録カードなどがあると、登録をしやすいのかもしれませんがね。
(八尋委員)
・家庭で読んでいただく本は図書館で借りることができますよという関わり方をしているところもあります。家庭に本がないところもあるようなので、図書館利用登録をご案内することは効果的かもしれません。
・ブックスタートの選書方法はどのようにされていますか。
(事務局)
・2冊セットになっていますが、基本のセットは「いないいないばあ」と「じゃあじゃあびりびり」です。第2子以降の方には「おつきさまこんばんは」「がたんごとんがたんごとん」など、全部で6種類用意しています。NPOブックスタートのリストの中から絵本を入手しています。
(2) 平成29年度学校図書館支援の取組みについて
(事務局説明)
・学校図書館司書は小学校は平成25年度から、中学校は平成29年10月から各学校に配置されました。
・小学校へは市民図書館の市の司書職員が各学校に毎週1回巡回し、小学校読書リーダーの養成などの取組みを行いました。
・中学校は昨年度は9月まで週3回訪問し、市職司書2名で放課後開館も行っていました。
・今年度は小中学校ともに、週1回市民図書館職員がサポートに入っています。
・中学校図書館の利用を増やすことが課題です。
・市教育委員会理事が主になり「太宰府市学校図書館基本指針」を策定中です。その指針をもとに今年度中に、学校図書館関係者会議を開催する予定です。
(黒田委員)
・中学校の図書館は昼休みと放課後の開館ですか。中学校は時間の余裕がないので、教室から図書館が少し離れているとあきらめる生徒もいます。開館時間の見直しも必要かと思います。
(八尋委員)
・学校図書司書の方の勤務時間はどのようになっていますか。
(事務局)
・勤務時間は1日5時間で、時間帯は各学校で決めてあるようです。
(黒田委員)
・調べ学習等で、先生があえて時間を取って子どもたちに図書館に行くきっかけを作っているとも聞いています。読書離れは子どもたちが図書館を利用する時間の余裕がないことも、原因になっているのではないのでしょうか。
(時里会長)
・学校の図書館は1日開けているが、学校司書は勤務時間帯しかないという状況ですか。
(野田委員)
・小学校の場合は昼休みに図書館を利用するので、昼休み終了時までは勤務できるような体制を取っています。週1回程度、授業時間中担任が図書館を優先的に利用できる時間割があります。
(黒田委員)
・図書館は職員が不在の時、施錠してあるのですか。
(野田委員)
・例えば朝の早い時間等、司書がいない時間帯は施錠しています。図書司書が配属されていないときは休み時間に図書委員が開けたり、担当教師が開けたりしていました。
・小学校は放課後は下校になりますので、放課後開館は中学校が対象となります。
(時里会長)
・中学校で部活に所属すると、読書の機会が少なくなりました。全国的にそのような傾向があるのではないかと思います。
・学校司書の役割は大きいですね。

(穂坂副会長)
・市民図書館の司書と学校図書司書との関係ですが、どのように働きかけをされていますか。
(事務局)
・学校には司書教諭もいらっしゃいますので、先生方中心に学校図書館を運営されています。市民図書館の司書は学校図書館の司書の相談を受けたり、蔵書点検のお手伝いをしたりしています。中学校に司書が配属されるまでは、市民図書館の市職司書がローテーションを組んで中学校を巡回していました。
(八尋委員)
・読書リーダーの子どもたちは学校でどのような活動をしていますか。
(野田委員)
・本校(水城西小)の場合は、リーダー研修会で学んだ、絵本や紙芝居の読み聞かせを昼休みに行いました。事前に放送で周知をし、子どもたちが80人程度集まりました。校長通信で保護者の方々にも報告する予定にしています。
(3) 第2次太宰府市子ども読書活動推進計画進捗状況について
(事務局説明)
・「第2次太宰府市子ども読書活動推進計画」は平成30年度から5年間の計画ですので、今回ご報告しています平成29年度の事業は、策定前の現状を確認していただくという意味でご覧いただければと思います。
・計画は、乳幼児期、学齢期、青年期、協働と4つの領域にわけております。そのうち青年期につきましては、今まで取り組みが不足しておりましたため、新たに加えた項目になります。他の領域と比べて達成度が低くなっておりますのは、これから取り組んでいく内容が含まれていることによるものです。今後も毎年進捗状況の報告をしていきます。
(時里会長)
・協働とはどのような形の協働ですか。
(事務局)
・市全体で子どもたちの読書を推進していこうという意味で、市民との協働です。
(4) 平成30年度事業進捗状況について
(事務局説明)
・7月7日の「七夕まつり」は、福岡こども短期大学と太宰府市子ども文庫・読書サークル連絡協議会との共催事業です。今年は豪雨により会場が避難場所となったため、中止しました。
・9月8日の「こどものための夏の終わりの演奏会」は九州大学芸工学部フィルハーモニー管弦楽団のご協力をいただき、小さなお子様から楽しんでいただけるコンサートです。入場者も多く好評でした。
(黒田委員)
・出張おはなし会はどのようなものですか。
(事務局)
・学童保育所からのご依頼が一番多いのですが、他にも地域の子育てサークルや幼稚園などから依頼を受け、こちらから出向いておはなし会をしています。特別支援学校では年3回行っています。
(時里会長)
・七夕まつりはどのような内容ですか。
(事務局)
・プラム・カルコア全体を使用して、市民ホールは福岡こども短期大学の学生さんによる劇など、研修棟は文サ連さんや市民図書館司書が読み聞かせなどを行う予定でした。昨年はプラム・カルコアが改修工事をしていたため、会場を福岡こども短期大学に移して開催しましたが、その時も朝倉地方で豪雨の被害が出た時期でした。七夕まつりですので、開催時期を動かすことも難しく、来年に向けて協議も行っているところです。
6. その他
昨年度の市民図書館利用者アンケートについて報告。